

西光寺

竹田地域の旧城下町で最も古い歴史を持つ西光寺は、歴史上竹田市にとって重要な役割を果たしてきました。境内には、本堂、山門、鐘樓のほか、市街地を見下ろす丘に墓地が広がっています。

西光寺は、江戸時代（1603～1867 年）に現在の竹田市を治めていた中川家の菩提寺（先祖代々のお墓を祀るお寺）です。もともと中川家の出身地である兵庫県にありましたが、16 世紀後半、当時日本を事実上支配していた豊臣秀吉（1537-1598）の命令により中川家が竹田地域に移った際に、移築されました。当初、城下町の中（現在の市立図書館付近）に建てられた西光寺は、1679 年に旧城下町に近い現在の場所に移築されています。

現在の本堂には、矢や鉄砲を放つ際に使う 2 階の小さな窓など、多くの興味深い特徴があります。本堂は一般公開されていませんが、17 世紀後半に建てられた門と鐘樓のある境内は自由に見学が可能です。